

2026年3月期 第3四半期決算概況

2026年2月6日

株式会社 J-オイルミルズ
問い合わせ先:
財務部財務企画グループ Tel. 03-5148-7100

2025年度 3Qおよび2025年度業績予想サマリー

2025年度 3Q実績

連結売上高は1,711億円、連結営業利益は36億円と、減収減益

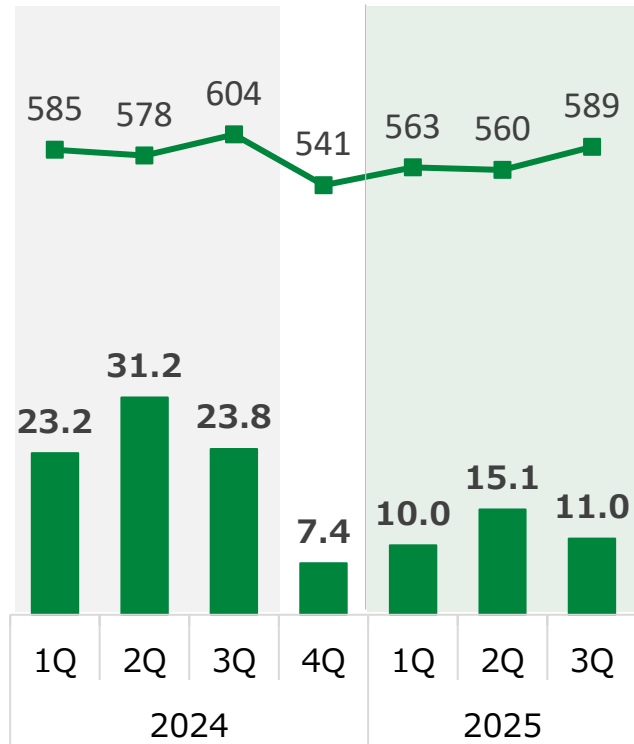
- インバウンド需要の拡大と外食市場の回復に支えられ、業務用油脂の販売重量は堅調に推移したものの、ミールの販売単価低下等により減収
- 構造改革を進めたスペシャリティフード事業は収益が改善、油脂事業は価格改定の浸透を進めているものの、短期的にはコスト上昇を吸収できず減益

2025年度 業績予想

連結売上高は2,260億円、連結営業利益50億円と業績予想は据え置き

- 価格改定の浸透、アカウント別戦略の実施、生産性向上やコスト低減といった短期的施策を着実に進めるとともに、高付加価値品の拡充や構造改革など中期的な取り組みも並行して推進
- 収益回復見通しと安定配当方針に基づき、年間配当は1株70円を維持

■ 営業利益 ■ 売上高 (単位:億円)



Agenda

- 1 2025年度 第3四半期 決算概況
- 2 2025年度 業績予想
- 3 参考資料

2025年度 3 Q 連結業績概要

(単位:億円)

	2024年度 3 Q実績	2025年度 3 Q実績	前年差	前年比
売上高	1,767.3	1,711.3	▲ 56.0	96.8%
営業利益	78.3	36.1	▲ 42.2	46.1%
経常利益	81.7	39.5	▲ 42.2	48.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	58.6	25.6	▲ 33.0	43.7%
営業利益率	4.4%	2.1%	-	-

2025年度3Q セグメント別業績

(単位:億円)

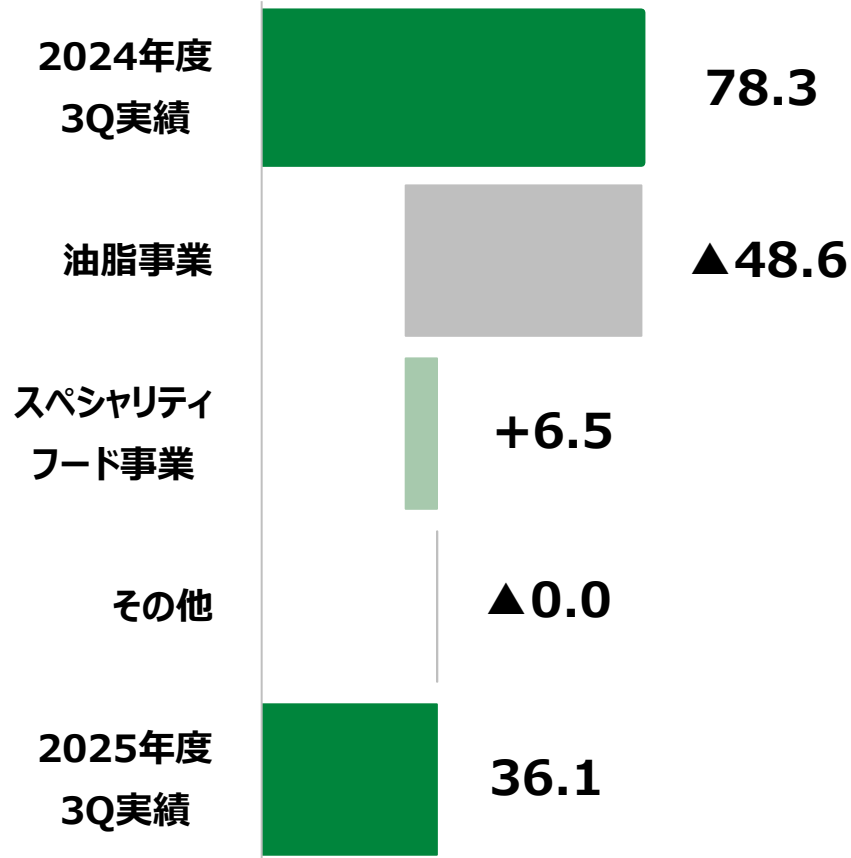
売上高	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績		
			前年差	前年比
油脂事業	1,604.3	1,557.8	▲ 46.5	97.1%
スペシャルティフード事業	155.5	147.9	▲ 7.5	95.1%
(内乳系PBF)	81.3	87.0	+ 5.7	107.0%
(内食品素材)	74.2	60.9	▲ 13.2	82.1%
その他事業	7.5	5.6	▲ 1.9	74.3%
連結合計	1,767.3	1,711.3	▲ 56.0	96.8%

営業利益	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績		
			前年差	前年比
油脂事業	74.5	25.9	▲ 48.6	34.7%
スペシャルティフード事業	2.3	8.8	+ 6.5	377.8%
(内乳系PBF)	▲ 0.1	4.0	+ 4.1	-
(内食品素材)	2.4	4.8	+ 2.4	198.1%
その他事業	1.5	1.5	▲ 0.0	98.2%
連結合計	78.3	36.1	▲ 42.2	46.1%

2025年度3Q 営業利益増減分析

■セグメント別 営業利益増減

(単位:億円)



油脂事業

	Net	販売価格	販売重量	原材料他
家庭用		▲12.1	+1.8	
業務用		+27.3	+2.2	
合計	▲48.6	+15.2	+4.1	▲67.9

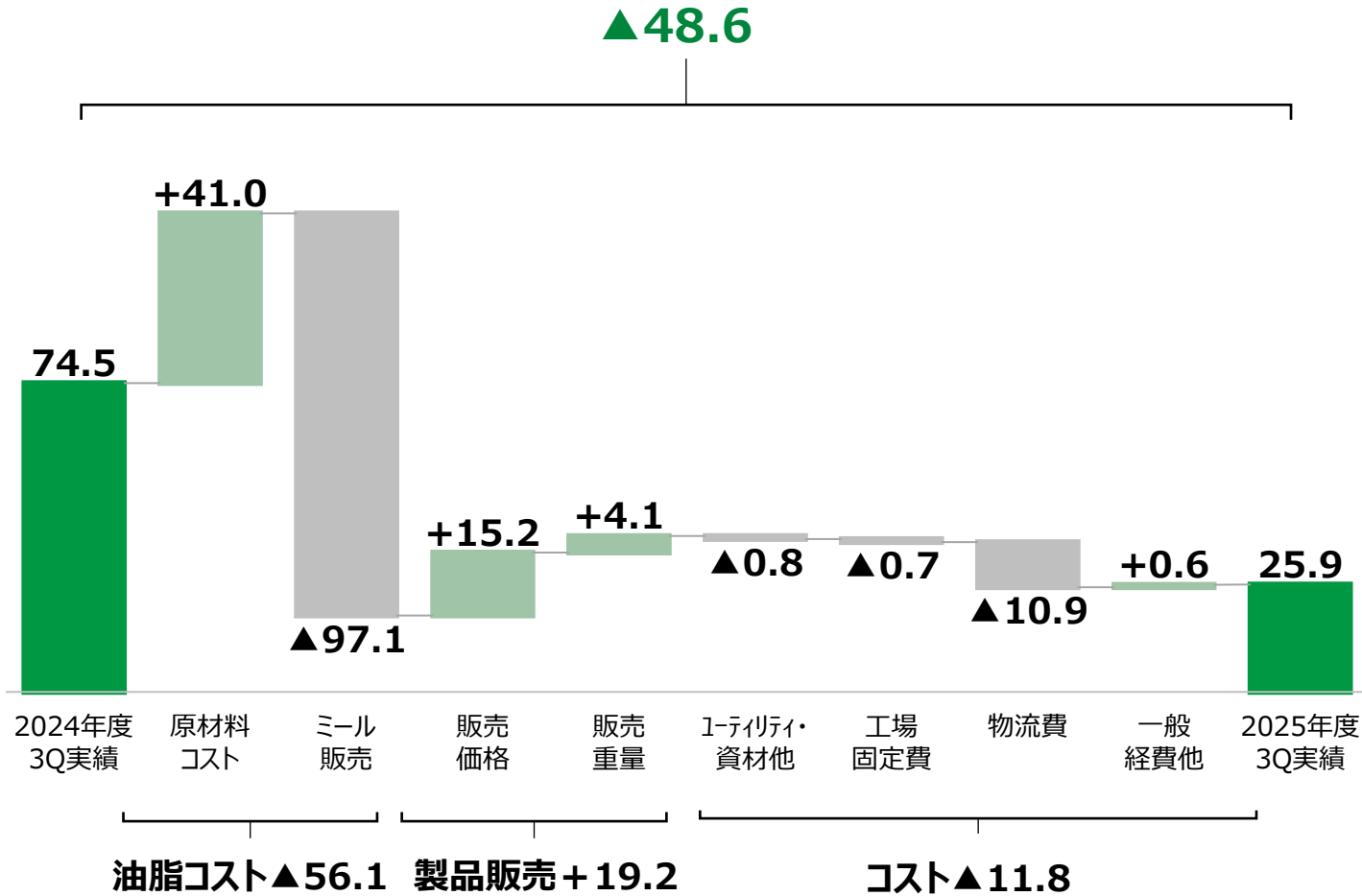
スペシャルティフード事業

	Net	販売価格	販売重量	原材料他
乳系PBF	+4.1	+10.1	▲3.1	▲2.9
食品素材	+2.4	+1.4	▲3.8	+4.7
合計	+6.5	+11.5	▲6.9	+1.8

2025年度3Q 営業利益増減分析

■油脂事業 営業利益増減

(単位:億円)



油脂コスト詳細			
原材料コスト	+41.0	大豆	+35.5
		菜種	▲20.7
ミール販売	▲97.1	為替	+16.6
		購入油	+14.7
		在庫影響他	▲5.2
		販売価格	▲99.6
		販売重量	+2.5

コスト詳細			
1-ティリティ・資材他	▲0.8	1-ティリティ	+2.0
		資材他	▲2.7
一般経費他	+0.6	人件費	+1.1
		広告費	+1.9
		販促費	+0.4
		その他	▲2.8

高付加価値品の状況

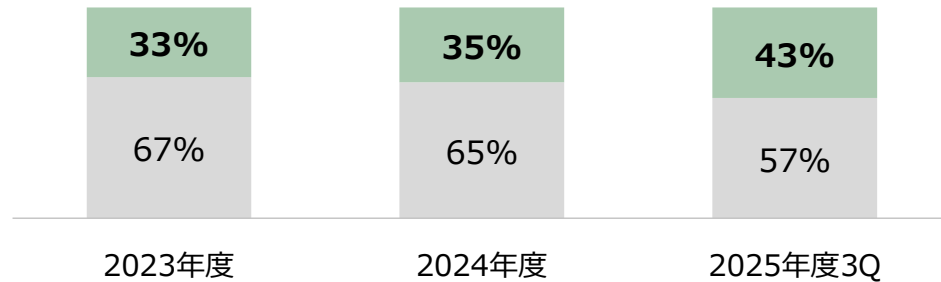
■ 高付加価値品連結売上高・粗利益

(単位：億円)

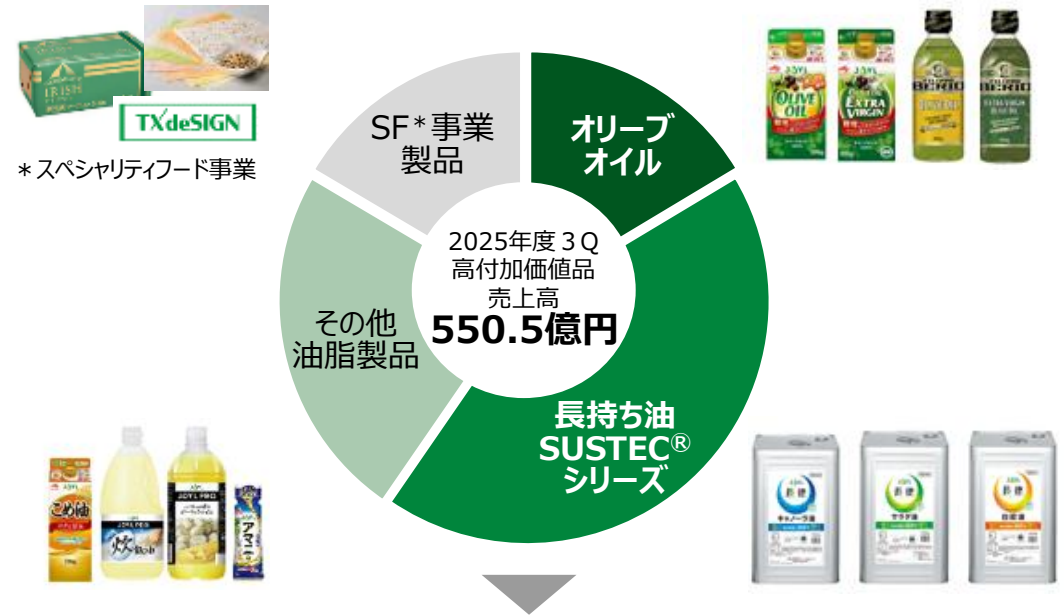
	2024年度 3Q	2025年度 3Q	前年比
家庭用	144.1	132.7	92.0%
業務用	302.4	326.8	108.1%
油脂事業	446.5	459.5	102.9%
スペシャルティ フード事業	90.9	91.0	100.2%
売上高	537.4	550.5	102.4%
粗利益	103.6	112.3	108.4%
粗利益率	19.3%	20.4%	+1.1Ppt

■ 連結粗利構成比推移

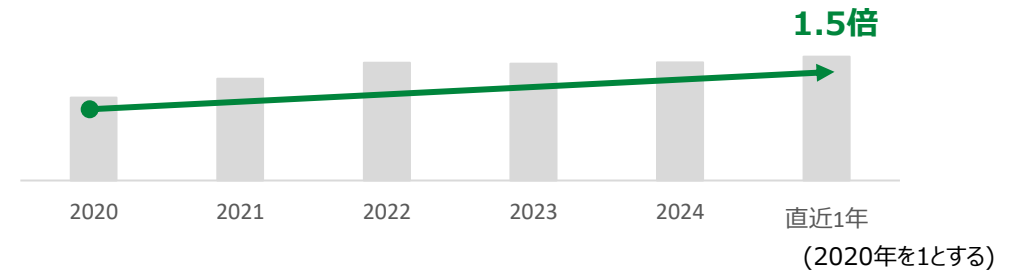
■ 汎用品 ■ 高付加価値品



■ 主な高付加価値品の売上高構成比



長持ち油SUSTEC®シリーズの販売重量推移



B/Sの状況

■ 連結貸借対照表

	24年期末	25年3Q末	増減
流動資産	1,014	963	▲ 52
現預金	120	33	▲ 86
売上債権	408	458	+ 50
棚卸資産	458	439	▲ 19
その他	29	32	+ 3
固定資産/繰延資産	687	694	+ 6
有形・無形資産	459	453	▲ 7
投資その他	228	241	+ 13
資産 計	1,702	1,656	▲ 45

(単位:億円)

	24年期末	25年3Q末	増減
負債	639	574	▲ 65
仕入債務	150	138	▲ 12
有利子負債※	242	229	▲ 14
引当金	45	36	▲ 9
その他	201	172	▲ 29
純資産	1,063	1,082	+ 19
株主資本	1,002	1,004	+ 1
包括利益他	56	73	+ 17
非支配株主持分	5	5	+ 0
負債・純資産 計	1,702	1,656	▲ 45

※有利子負債・・・社債と借入金の合計値を使用

Agenda

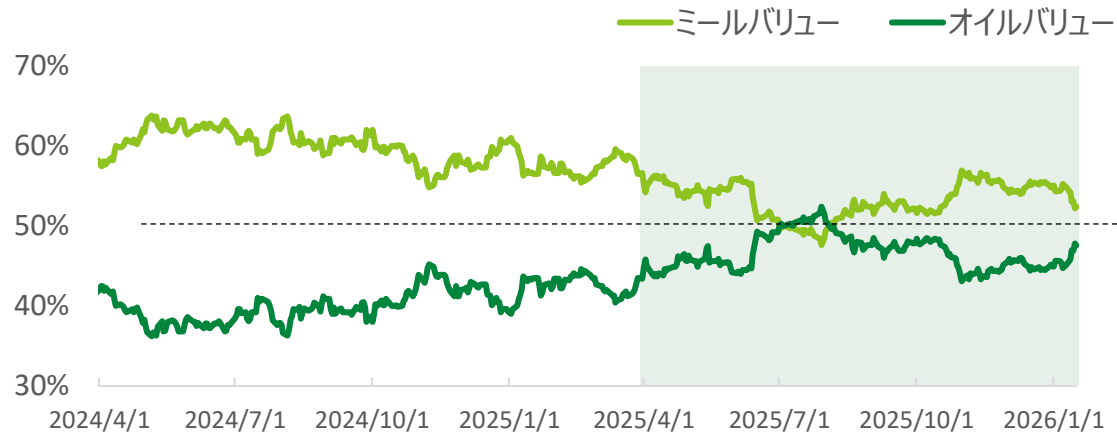
- 1 2025年度 第3四半期 決算概況
- 2 2025年度 業績予想
- 3 参考資料

外部環境と重点取り組み

厳しい環境が継続するが、各種施策を着実に推進し、その成果を積み上げることで
今期業績の達成と持続的成長の両立を目指す

コスト環境

- ミールバリューは一時回復も再び低下傾向、
油脂コストが厳しい状況は継続



- 資材費高騰・エネルギー費の高止まり
- 物流費・人件費等、社会的責任を果たすために
必要なコストの継続的な増加

重点取り組み

- 継続的かつ適切な価格改定の実施

- ・ 浸透には時間を要しているが、販売価格は段階的に上昇しており、
収益改善に寄与してきている

- 生産性向上・効率化

- ・ アカウント別戦略の実施による収益性の改善
- ・ 効果的なマーケティング手法の実践
- ・ サプライチェーン全体での物流効率化を検討
- ・ d Xによる業務効率化

- お客様のニーズに応える高付加価値品の拡販

- ・ 高付加価値品は堅調に推移、
新商品の上市によるラインアップ拡充と収益性向上

- 資産効率化の推進

- ・ CCCの改善、政策保有株式の売却

2025年度 連結業績予想

■ 2025年11月5日公表業績予想を据え置き

(単位:億円)

	2024年度 実績	2025年度 予想	前年差	前年比
売上高	2,307.8	2,260.0	▲47.8	97.9%
営業利益	85.7	50.0	▲35.7	58.3%
経常利益	100.3	61.0	▲39.3	60.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	70.0	41.0	▲29.0	58.6%
営業利益率	3.7%	2.2%	-	-
ROE	6.7%	3.9%	-	-
ROIC	4.6%	2.8%	-	-
EPS (円)	211.5	123.8	-	-

2025年度 セグメント別業績予想

■ 2025年11月5日公表業績予想を据え置き

(単位:億円)

売上高	2024年度 実績	2025年度 予想		
			前年差	前年比
油脂事業	2,092.3	2,065.0	▲27.3	98.7%
スペシャルティフード事業	205.7	187.0	▲18.7	90.9%
(内乳系PBF)	109.7	110.0	+0.3	100.3%
(内食品素材)	96.0	77.0	▲19.0	80.2%
その他事業	9.9	8.0	▲1.9	81.2%
連結合計	2,307.8	2,260.0	▲47.8	97.9%

営業利益	2024年度 実績	2025年度 予想		
			前年差	前年比
油脂事業	82.4	41.0	▲41.4	49.7%
スペシャルティフード事業	1.4	8.0	+6.6	591.7%
(内乳系PBF)	▲0.8	4.0	+4.8	—
(内食品素材)	2.1	4.0	+1.9	186.3%
その他事業	1.9	1.0	▲0.9	51.8%
連結合計	85.7	50.0	▲35.7	58.3%

Agenda

- 1 2025年度 第3四半期 決算概況
- 2 2025年度 業績予想
- 3 参考資料

高付加価値品の拡販：新商品

「機能」「容量」「容器」など消費者ニーズに即した商品ラインアップの拡充
高付加価値品の市場拡大に向けた商品戦略の実施

家庭用油脂



「AJINOMOTO. オリーブオイル PURE LIGHT」
600g UDエコペット／720g UDエコペット
2月20日より全国で順次発売

辛味・苦味がなく、クセがないオリーブオイル100%で、
素材本来の風味を引き立てる点が特徴



「AJINOMOTO. こめ豊味(ほうみ)油」
900g エコボトル／1300g エコボトル
2月20日より全国で順次発売

米ぬか・米胚芽由来で、軽い後味が特長のこめ油に、
コクが特長の大豆油をブレンドし、軽さとコクの風味バランスを
追求したクッキングオイル



「AJINOMOTO. アミノ油」
100g鮮度キープボトルパッケージデザインリニューアル
3月上旬以降、全国で順次発売

小さじ1杯で1日に必要なオメガ3（n-3系）脂肪酸を
摂取できる※注アミノ油100%の製品



「AJINOMOTO. ことばうっかりサポート えごま油の力」
90g鮮度キープボトル
2月20日より全国で順次発売

えごま油100%の機能性表示食品
えごま油とは、えごまの種子を搾った油で、α-リノレン酸を代表とする
n-3系脂肪酸をたっぷり含むことが特徴

※ 注 n-3系脂肪酸の推奨摂取基準（成人）：1.7～2.3g/日

出典：厚生労働省「日本人の食事摂取基準（2025年版）」内、「n-3系脂肪酸の食事摂取基準（g/日）」

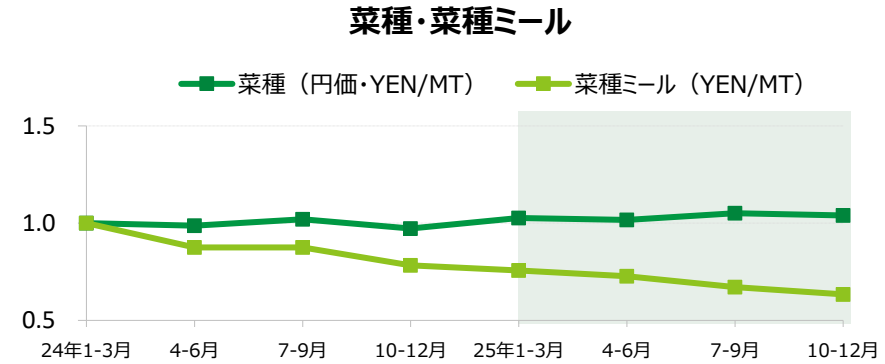
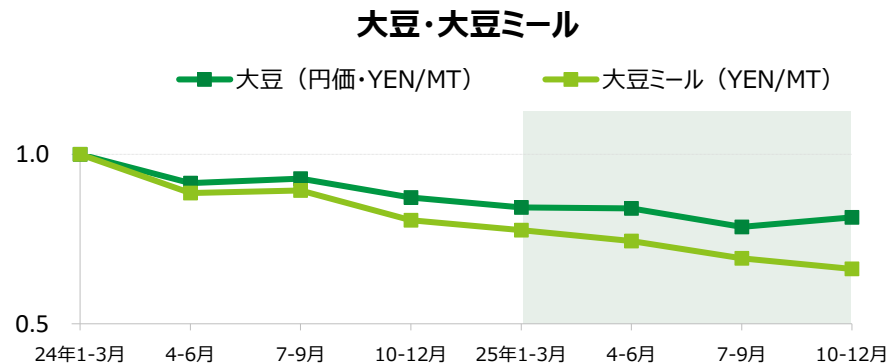
原料動向

原料・為替状況※1

	24'1Q	24'2Q	24'3Q	24'4Q	25'1Q		25'2Q		25'3Q		25'4Q	
	結果	結果	結果	結果	結果	前年差	結果	前年差	結果	前年差	結果	前年差
大豆 ¢/Bu※2	1,193.4	1,186.0	1,040.1	993.5	1,025.0	▲168.4	1,043.7	▲142.4	1,012.4	▲27.6	1,076.2	+82.7
菜種 ¢/MT※3	608.1	631.6	601.2	614.6	627.3	+19.1	693.2	+61.6	659.2	+58.0	620.6	+6.0
ミール1-%	59.8	61.5	60.7	58.3	57.5	▲2.3	54.2	▲7.3	51.1	▲9.6	54.5	▲3.8
海上運賃us\$/t※4	68.9	65.9	62.2	54.5	50.0	▲18.9	46.9	▲18.9	58.1	▲4.1	58.3	+3.8
為替レート円/us\$※5	149.4	156.9	150.6	153.4	153.7	+4.3	145.6	▲11.2	148.5	▲2.1	155.2	+1.8

※1: 搾油原料の買付けは基本的に約3カ月前の時点にて行っており、本図では各期の業績に影響のある期間相場の平均値を示しています
※2: シカゴ相場 ※3: ウィネブガ相場 ※4: US Gulf-Japan PANAMAX ※5: 為替TTSレート

原料価格推移



※2024年3月を1として算出

2025年度3Q 営業利益増減分析詳細

営業利益 前年比較

(単位:億円)

	2024年度 3Q	2025年度 3Q	対前年 増減額	詳細
油脂事業	74.5	25.9	▲48.6	
家庭用				販売価格: ▲12.1、販売重量: +1.8
業務用				販売価格: +27.3、販売重量: +2.2
スペシャルティフード事業	2.3	8.8	+6.5	
乳系PBF	▲0.1	4.0	+4.1	販売価格: +10.1、販売重量: ▲3.1
食品素材	2.4	4.8	+2.4	販売価格: +1.4、販売重量: ▲3.8
その他	1.5	1.5	▲0.0	
総計	78.3	36.1	▲42.2	

■ 油脂事業 営業利益増減分析詳細

	対前年 増減額	詳細
製品販売	+19.2	
販売価格	+15.2	汎用品: +11.5、高付加価値品: +3.7
販売重量	+4.1	汎用品: +0.1、高付加価値品: +3.9
参考) 高付加価値品	+7.6	家庭用: ▲10.8、業務用: +18.4
油脂コスト	▲56.1	
原料コスト	+41.0	大豆: +35.5、菜種: ▲20.7、為替: +16.6、購入油: +14.7、在庫影響他: ▲5.2
ミール販売	▲97.1	販売価格: ▲99.6、販売重量: +2.5
その他コスト	▲11.8	
1-ティリティ・資材他	▲0.8	1-ティリティ: +2.0、資材他: ▲2.7
工場固定費	▲0.7	
物流費	▲10.9	
一般経費他	+0.6	人件費: +1.1、広告費: +1.9、販売促進費+0.4:、その他: ▲2.8
油脂事業	▲48.6	

*為替（期中平均レート）
24年度3Q:150円/1ドル
25年度3Q:147円/1ドル

2025年度業績予想 営業利益増減分析詳細

営業利益 前年比較

(単位:億円)

	2024年度	2025年度 通期予想	対前年 増減額	詳細
油脂事業	82.4	41.0	▲41.4	
家庭用				販売価格: ▲14.1、販売重量: +5.8
業務用				販売価格: +44.0 販売重量: +2.7
スペシャルティフード事業	1.4	8.0	+6.6	
乳系PBF	▲0.8	4.0	+4.8	販売価格+11.9:、販売重量: ▲4.7
食品素材	2.1	4.0	+1.9	販売価格: +0.6、販売重量: ▲5.7
その他	1.9	1.0	▲0.9	
総計	85.7	50.0	▲35.7	

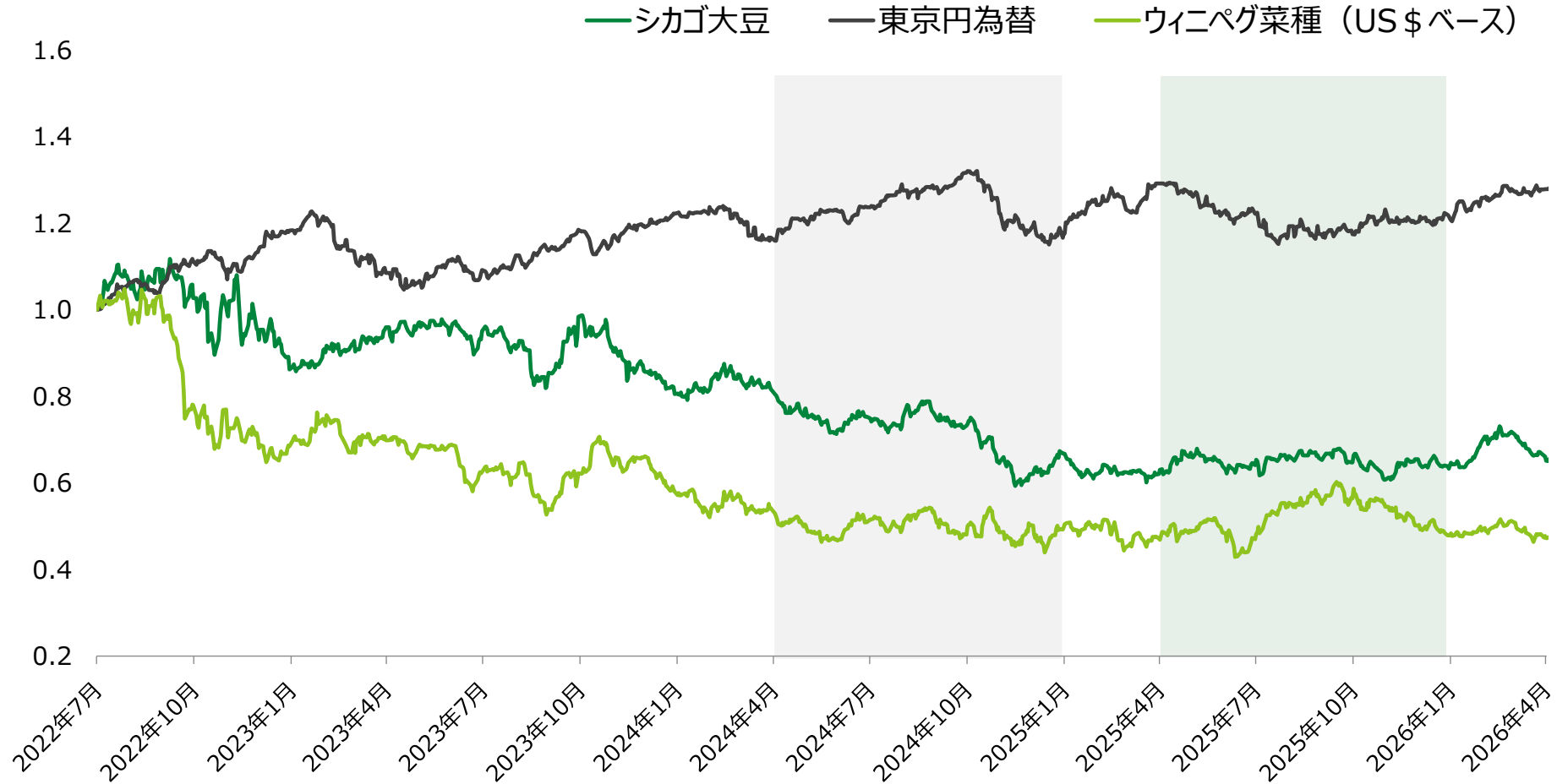
■ 油脂事業 営業利益増減分析詳細

	対前年 増減額	詳細
製品販売	+38.4	
販売価格	+29.9	汎用品: +27.8、高付加価値品: +2.1
販売重量	+8.5	汎用品: ▲0.4、高付加価値品: +8.9
参考) 高付加価値品	+11.1	家庭用: ▲14.3、業務用: +25.4
油脂コスト	▲61.4	
原料コスト	+52.7	大豆: +35.1、菜種: ▲17.7、為替: +16.7、購入油: +19.7、在庫影響他: ▲1.2
ミール販売	▲114.1	販売価格: ▲117.0、販売重量: +3.0
その他コスト	▲18.5	
1-ティリティ・資材他	▲0.8	1-ティリティ: +3.0、資材他: ▲3.8
工場固定費	▲3.0	
物流費	▲14.7	
一般経費他	+0.1	人件費: ▲0.5、広告費: +5.0、販売促進費: +0.2、その他: ▲4.6
油脂事業	▲41.4	

*為替（期中平均レート）
24年度:150円/1ドル
25年度予想:148円/1ドル

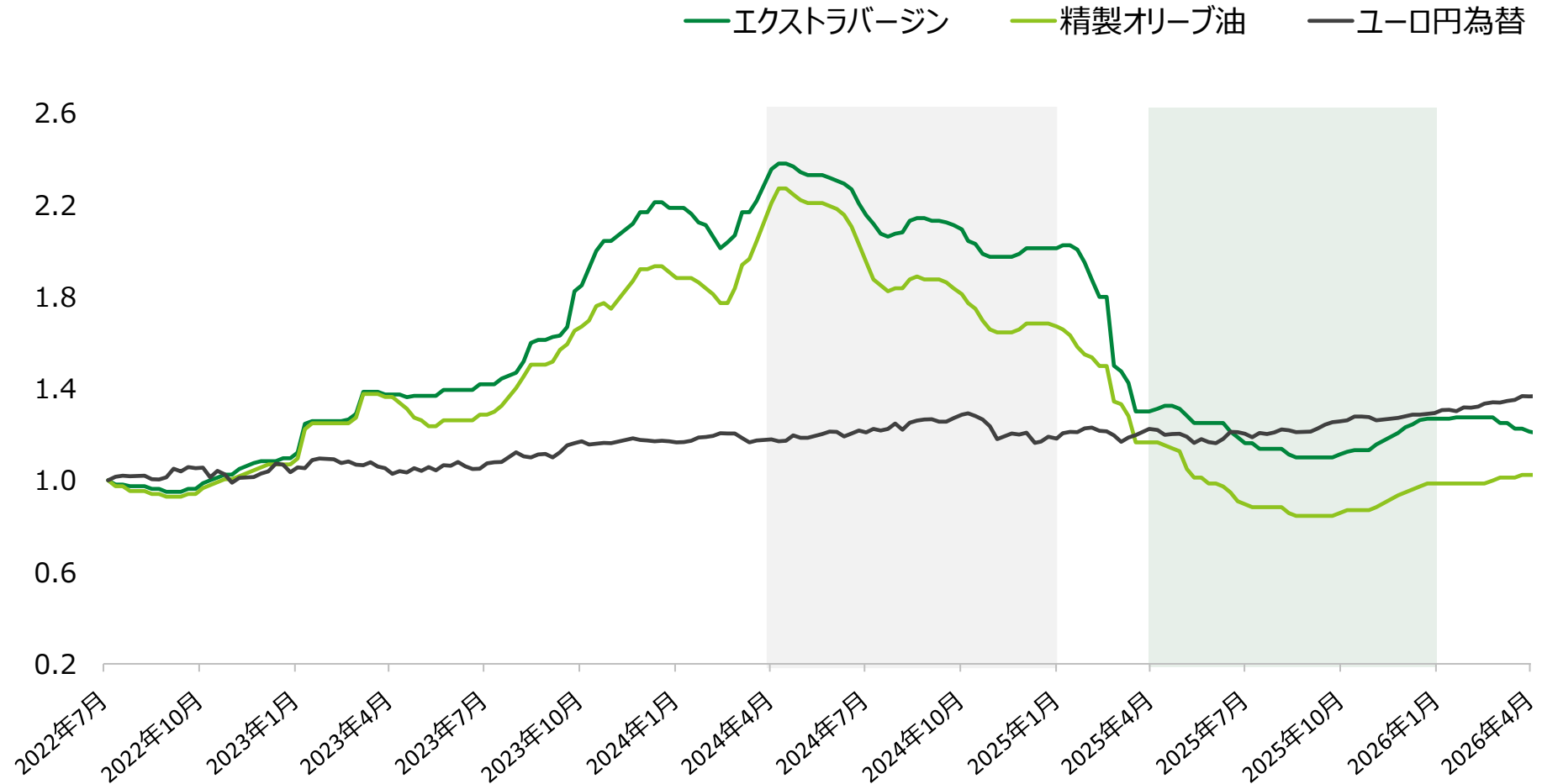
大豆、菜種、為替(米ドル)の相場動向

* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2022年4月を1とする(図中では2022年7月が1となる))

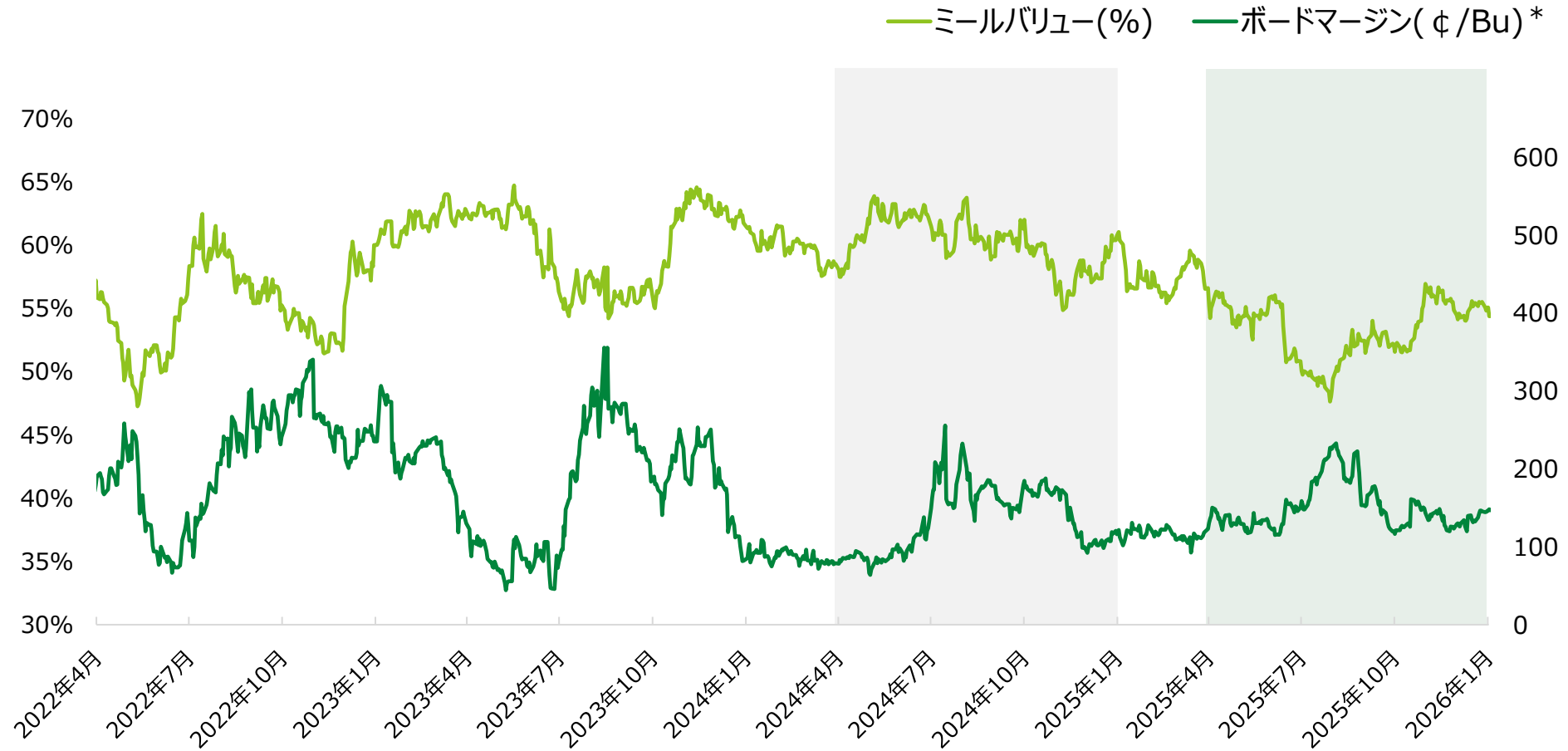


オリーブ、為替(ユーロ)の相場動向

* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2022年4月を1とする(図中では2022年7月が1となる))



ミールバリューの動向



* シカゴ大豆定期 1 ブッシェルから産出する大豆油と大豆ミールの価値の合計と大豆 1 ブッシェルの価格の差

